



木の郷ぎふの家 御嵩建築
の住まい創り新聞

Vol.41

今回のテーマ
現場レポート
インフルエンザと漆喰壁



雨楽な家 笑家族SK-28
リビング

現場レポート

- ◎各務原市 O様邸 新築工事
配筋検査です。無事に合格です！
基礎工事。基礎立上りのコンクリートを打ち込みます。
木材利用ポイント実施中です。
- ◎多治見市 SM様邸 新築工事
東濃ヒノキの床を貼っています。香りが心地よいですね！
- ◎土岐市 H様邸 新築工事
躯体金物検査・防水検査が行われました。
しっかりと施工されています。合格です！
- ◎可児市 D様邸 新築工事
ガレージが完成しました。きれいに仕上がっています。(満足)
- ◎御嵩町 古民家再生事業
御嵩町で古民家再生事業が始まりました。
- ◎多治見市 SY様邸 新築工事
完成しました。お引き渡しとなりました。「ありがとうございました。」



【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

インフルエンザと漆喰壁

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが原因で起こる病気で、突然の発熱や全身の倦怠感などの症状が特徴です。伝染性が非常に強く、症状が激しく重症化しやすいなどから、普通のかぜとは区別すべき病気です。特に高齢者や乳幼児は重症化しやすいので注意が必要です。

岐阜県内では、インフルエンザの流行期に入っています。現在、御嵩町、可児市、多治見市、美濃加茂市・加茂郡で大流行です。さらに感染が拡大する可能性がありますので、「うつさないように」「かからないように」注意が必要です。

インフルエンザへの感染を抑えるには、各自がかからないようにすることと、広めないように心がけることが大切です。



かからないようにするには・・・

出かける場合には、なるべく人ごみを避けましょう。

帰宅時や食事前には手洗いとうがいをしましょう。

睡眠を十分に取り、栄養に気を配りましょう。

室内を適切な温度や湿度に保ちましょう。



広めないようにするには・・・

せきエチケットを守りましょう。(せき、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ、飛沫(ひまつ)を飛ばさないように心がける。)

せき、くしゃみなど体調がおもわしくない場合には、極力外出は避け、外出をする場合にはマスクをしましょう。

インフルエンザと“かぜ”(普通感冒)の違い・・・

インフルエンザと“かぜ”(普通感冒)とは、原因となるウイルスの種類が異なり、通常“かぜ”(普通感冒)はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。

さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。

また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあります。

漆喰壁がなぜインフルエンザ対策になるのですか？

漆喰の主原料は消石灰です。消石灰といえば高病原性鳥インフルエンザが日本国内で確認された時、白い防護服を着た作業員が鶏舎の中や周囲に白い粉末を大量に散布していた光景をテレビで見たのを覚えていると思います。あの白い粉が消石灰(水酸化カルシウム)です。消石灰は大昔のサンゴがもとになった石灰石を焼成・消化したもので多孔質構造、強アルカリ性で、細菌やウイルスを吸着し増殖を抑制する効果があります。結露をなくす調湿性能とのダブルパワーでアレルギーの原因となるカビ・ダニの発生を防止します。

漆喰と珪藻土の違い

珪藻土は藻類(プランクトン)の死骸が、海底や湖底に長年にわたって堆積してできた粘土状の泥土で、古くから七輪や耐火煉瓦の原料、酒やビールの濾過材、吸着や脱臭剤などに幅広く利用されています。漆喰と珪藻土の大きな違いは、漆喰はそれ自体が固まる性質や抗菌性を持っているのに対し、珪藻土にはその性質が無く、仕上材に使用するためには、固化材(接着剤)や防カビ材などの補助的物質が必要になってくる点です。そこで問題なのがその寿命や安全性です。固化材が劣化すれば珪藻土はバラバラになってしまう可能性があるし、防カビ材など配合物質がシックハウスの原因になる可能性もあるということです。珪藻土を使用する場合はこの点に注意する必要があります。

Topics

多治見市坂上町に完成しました、オシャレで小さな木の家(平屋)の完成見学会に、多くの皆様のご来場をいただき誠にありがとうございます。

また次回、3月15日(土)・16日(日)と多治見市坂上町で木の家完成見学会を予定しています。

詳細は後日、ホームページやかにさんくらぶ、スーモ、新聞チラシなどでご連絡いたします。

